

舞踏舍天鷄

プロフィール

舞踏舎天鷄

1981年に結成された舞踏舎天鷄は、作・振り付けの鳥居えびすと、メインダンサーである田中陸奥子を中心に、これまで多くの舞踏作品を発表してきました。舞踏の開花期とも言うべき70年代に、舞踏集団大駱駝艦で活躍したこの二人は、その確かな表現力と独創性によって、特にここ数年一作ごとに充実した舞台を生み出し、現在最も代表的な舞踏グループのひとつです。

美術、衣裳デザインも手がける鳥居えびすは、ダンサーとしてはその諧謔とペーソスに満ちた独特の持ち味に定評があり、一方の田中陸奥子は、ソロ活動にも意欲的に取り組み、「ざくろ誕シリーズ」(84年)、「幼虫図鑑」(92年)、「静物」(99年)など、高い評価を受けています。この二人の絶妙なコンビネーションによる天鷄の舞踏は、深い詩情と幻想性に溢れ、近年海外からの招聘も相次いでいます。

94年に発表されたアンサンブル「ノクターン」は、若手メンバーを加えての新しい方向性を打ち出した作品で、96年北米・ドイツ7都市で海外初演され、各地で大きな反響を呼び起こしました。以来、97年北米6都市、98年ニューヨーク・ジョイスシアター等北米6都市、99年北米・カナダ3都市、2000年北米4都市と毎年公演ツアーが行われ、その評価を確立しています。

そして、99年東京で初演された「彼方」は、2000年2月に北米ロサンゼルス、オースチンで海外初演され、絶賛を持って迎えられています。

鳥居えびす (とりい えびす)

1974年、大駱駝艦に参加。1981年、舞踏舎天鷄を設立し主宰する。代表作に「白痴群」、「永久追放」、「ノクターン」、「彼方」等。近年海外からの招聘も多く、96年からは毎年北米ツアーを続けている。コレオグラファーとして田中陸奥子の超絶技巧ソロを振付ける一方、自身は **whimsical**(きままな)とも称されるスタイルで田中による主題を変奏しつつ、異化することにより舞踏の深淵に観客を誘う、自然体の舞踏家である。

田中陸奥子 (たなか むつこ)

1973年、大駱駝艦に参加、創設期の中心的な女性舞踏手として活躍する。81年、鳥居えびすと舞踏舎天鷄を設立、多くの舞踏作品を発表している。その豊かな表現力と、力強い踊りには定評があり、海外でも「集中力と抑制の天賦の才によって現される、静かに燃え立つパッション」(シカゴ・トリビューン紙)、「この詩的であると同時に心を不穏に騒がせるダンスシアターの舞台に立つ、地獄からの舞姫」(ロサンゼルスタイムズ紙)と絶賛される。

舞踏舎天鷄 主要作品上演記録

— 国内公演 —

| | | | |
|-------|-----|---------------------------|--------------|
| 1981年 | 6月 | 「白痴群」(結成公演) | 新宿ACB会館 |
| | 10月 | 「のいちご」 | 大駱駝艦豊玉伽藍 |
| 84年 | 8月 | 「ざくろ誕」(田中陸奥子ソロ) | 赤坂草月ホール |
| | | アメリカン・ダンスフェスティバル参加作品 | |
| | 11月 | 「兎のダンス」 | 新宿安田生命ホール |
| 86年 | 7月 | 「ユーモレスクⅠ—スマトラの忘れな草の花」 | 中野テルプシコール |
| | 9月 | 「ユーモレスクⅡ—曳かれ者とマリアッチ」 | 中野テルプシコール |
| | 11月 | 「ユーモレスクⅢ—自家製 菅道と感動」 | 中野テルプシコール |
| 87年 | 5月 | 「ユーモレスクⅣ—幕間」 | 中野テルプシコール |
| | 9月 | 「ユーモレスクⅥ—青空にドン」 | 大阪島の内教会 |
| | | | 名古屋七つ寺共同スタジオ |
| 88年 | 6月 | 「ユーモレスクⅤ—赤彦とくすくす」 | 中野テルプシコール |
| 90年 | 11月 | 「永久追放」 | 吉祥寺バウスシアター |
| 92年 | 5月 | 「幼虫図鑑」(田中陸奥子ソロ) | 中野テルプシコール |
| | 10月 | 「むしがし物語」 | 中野テルプシコール |
| 94年 | 2月 | 「—√鳥(マイナス・ルート・とり)」 | 北沢タウンホール |
| | | 助成：芸術文化振興基金 | |
| | 11月 | 「ノクターン」 | 中野テルプシコール |
| 95年 | 9月 | 「Lの肖像」 | 中野テルプシコール |
| 96年 | 11月 | 「沼～ロータス幻想」 | 中野テルプシコール |
| 97年 | 9月 | 「ショーケース」(鳥居えびすソロ) | 横浜STスポット |
| | 11月 | 「女中たち」(天鷄スペシャル) | 世田谷シアタートラム |
| 98年 | 10月 | 「女中たち」(天鷄スペシャル) | 大阪TORII HALL |
| 99年 | 6月 | 「静物」(田中陸奥子ソロ) | 中野テルプシコール |
| | | | 大阪TORII HALL |
| | | | 名古屋七つ寺共同スタジオ |
| | 7月 | 「女中たち」(天鷄スペシャル) | 仙台エルパーク |
| | 11月 | 「彼方 1999」(初演) 助成：芸術文化振興基金 | 北沢タウンホール |
| 2000年 | 9月 | 「女中たち」(天鷄スペシャル) | 広島現代美術館 |
| | | | 高松市立美術館 |
| 2001年 | 12月 | 「うさぎのダンス」(初演) | 高知美術館 |
| 2002年 | 1月 | 「水性の人」(初演) | 神楽坂die pratz |

舞踏舎天鷄 主要作品上演記録

— 海外公演 —

| | | | |
|-------|-----|--|----------------------|
| 1988年 | 7月 | 「ユーモレスクVII—SASA」 アヴィニオンフェスティヴァル | 仏・アヴィニオン |
| 93年 | 8月 | 「むしがし物語」 舞踏フェスティヴァルinソウル | 韓国・ソウル (ポストシアター) |
| 95年 | 1月 | 「むしがし物語」 | 独・ゲッチングン (ユンゲンスシアター) |
| 96年 | 2月 | 「ノクターン」北米・独ツアー ロスアンジェルス (日米会館) ~ロングビーチ (カーペンターセンター) ~ 独・ポツダム (ファブリケフ) ~独・アルンシュタット (イムシュロステアトル) ~ 独・ハーレー (ノイステアトル) ~独・デソウ (バウハウス) ~独・アルテンブルク (ラントゼス・テアトル) | |
| 97年 | 1月 | 「ノクターン」北米ツアー | |
| | ~2月 | 助成：日米友好基金・国際交流基金 シアトル (オンザボード) ~サラソタ (ヴァンヴェーゼルシアター) ~ニューヨーク (ジャパンソサエティ) ~ミネアポリス (ウォーカーアートセンター) ~ サンフランシスコ (シアターアルト) ~シカゴ (ダンスセンター・オブ・コロ ンビアCO) | |
| 98年 | 2月 | 「ノクターン」北米ツアー | |
| | ~3月 | 助成：セゾン文化財団 エルパソ (チャミザルシアター) ~オースチン (ダンスアンブレア) ~ヒューストン (ダイバースワーク) ~コロンバス (ウェクスナーセンター) ~ニューヨーク (ジョ イスセンター) ~ピッツバーグ (エディシアター) | |
| | 6月 | 「ノクターン」 シンガポール フェスティヴァル オブ アーツ '98 | シンガポール (ジュビリーホール) |
| 99年 | 2月 | 「ノクターン」北米・カナダツアー ワシントンD.C. (ジョージワシントン大学) ~ヒューストン (カプランシアター) ~ バンクーバー (イースト カルチュラル センター) | |
| 2000年 | 2月 | 「KANATA」・「ノクターン」北米ツアー 助成：アーツプラン21・国際交流基金 オースティン~リンカーン (リイドセンター)~ロサンゼルス (JACCC)~ウィッティ アー (リオホンド大学) | |
| 2001年 | 2月 | 「ノクターン」 (マムフェスティバル) | 独・ゲッチングン (ユンゲスシアター) |